

平成 27 年度全国学力学習状況調査 結果と考察

《国語》

平均正答率をみると主として知識の領域である国語 A については全国平均とほぼ同等、主として活用の領域である国語 B については全国平均よりもやや高めという結果であった。このことから本校児童の国語科の調査結果は全国の公立学校とほぼ同じ水準であることが分かる。しかし、観点別にみていくと、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」では全国平均を上回るのに対し、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、全校平均をわずかに下回るという結果が見られた。

設問別の結果を分析してみると、「文章と図形を関係付けて、自分の考えを書く」や「新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える」といった内容に苦手意識を持つ児童が多い傾向が見られた。

《算数》

平均正答率をみると、すべての領域において全国平均を上回った。このことから本校児童の算数科の調査結果は全国の公立学校よりもやや高い水準であることが分かる。観点別にみても全ての観点で全国平均を 2 から 5 ポイントほど上回るという結果が見られた。

設問別の結果を分析してみるとすべての設問で全国平均を上回るものの、全国的に正答率の低い「概数を用いた見積もりの結果とそれに基づく判断」や「分割された二つの図形の面積」に関する記述問題では低い正答率となった。

《結果の分析と児童質問用紙の回答から見える今後の課題》

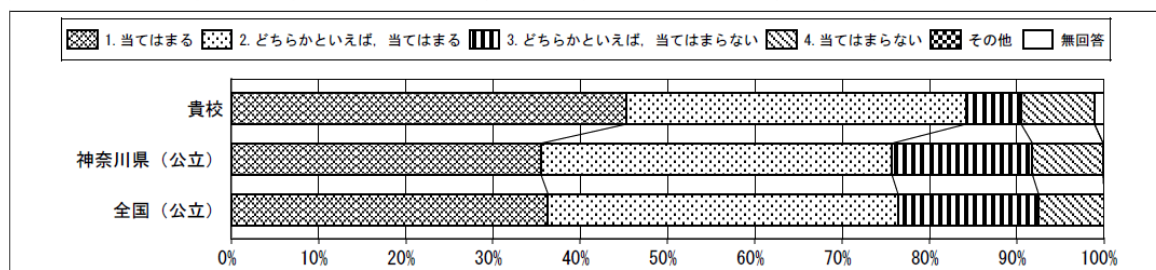
上記の調査結果から、国語では「読むこと」「書くこと」の領域の正答率の低さが見られた。また、算数科では記述式の問題の正答率の低さが見られることから、筋道を立てて自分の考えを書くことに課題があると考えられることができる。また、児童の学校生活に対する意識調査を分析すると各教科への学習意欲がおおむね全国平均より高い水準であり、「学校に行くのは楽しいと思いますか」という設問に対しても全国平均よりも高い結果が得られた。このことから本校児童は学校で学ぶことの大切や楽しさを感じながら学習することができていると考えることができる。本校職員が児童の興味関心に基づいた「わかる授業」を行ってきた成果であると言える。

しかし、「読書は好きですか」という設問に対しては全国平均を下回る結果となった。読書は国語科の「読むこと」「書くこと」だけでなく、各教科の学習につながる大切な学習の一つであることから、様々な文章や言葉に触れ、自分の考えをより豊かに表現するための資質を育むための方策が必要であると考えられる。また、「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか」という設問では全国平均を上回るものの、「そう思う」と答えた児童は少なかった。自信を持って自分の考えを発表することに、抵抗感を持つ児童が少なからずいることがうかがえる。学習だけでなく、学校生活の様々な場面での経験を通して児童一人ひとりがさらに自信を持つとともに、友達の考えを尊重し温かく受け止めることのできる学級の風土をつくることも大切であると考えられる。これらの課題の解決に向け、以下の事に取り組んでいきたい。

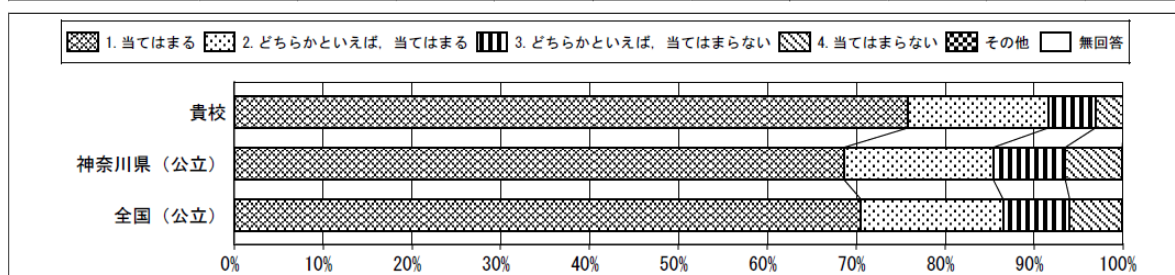
- ① 基礎・基本的事項の定着に向けた取り組み（読書、漢字練習、計算練習）
- ② 各教科、学級活動等で自分の意見や考えを述べる機会を増やすこと
- ③ 学級指導を充実させ、友達の持つ様々な個性を認め合える心情を育むこと

生活意識調査より（抜粋）

質問番号	質問事項									
(6)	自分には、よいところがあると思いますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	45.3	38.9	6.3	8.4					0.0	1.1
神奈川県（公立）	35.5	40.2	16.1	8.1					0.0	0.0
全国（公立）	36.3	40.1	16.1	7.5					0.0	0.0

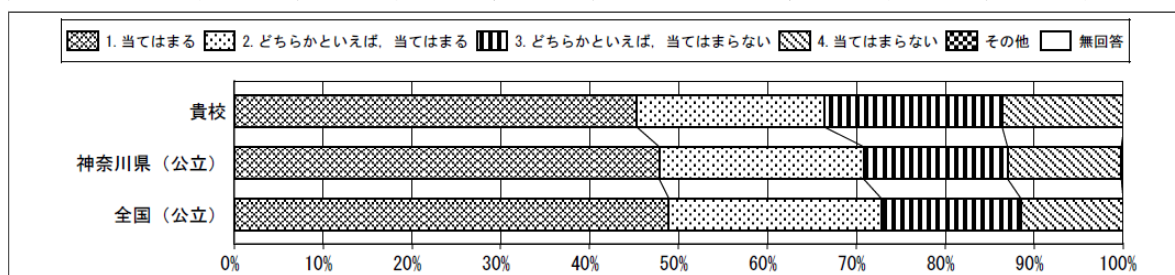


質問番号	質問事項									
(9)	将来の夢や目標を持っていますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	75.8	15.8	5.3	3.2					0.0	0.0
神奈川県（公立）	68.6	16.8	8.1	6.4					0.1	0.0
全国（公立）	70.5	16.0	7.5	5.9					0.1	0.0



↑ 「自分には良いところがあると思いますか」「将来のゆめや目標を持っていますか」についてはいずれも80%以上の児童が肯定的な回答を示している。本校児童が自己肯定感をもち、将来に向けて肯定的な展望を持っていることが分かる。

質問番号	質問事項									
(51)	読書は好きですか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	45.3	21.1	20.0	13.7					0.0	0.0
神奈川県（公立）	47.8	23.0	16.2	12.8					0.1	0.1
全国（公立）	48.9	23.9	15.7	11.5					0.0	0.1



↑ 「読書は好きですか」の設問に対しては半数以上の児童が肯定的な回答をしているが、否定的な回答をしている児童も少なくないことから、様々な言葉や表現の面白さに触れ、本に親しみ読書を楽しむ心情を育てていくことが課題であると読み取ることができる。